第3学年	数学科	使用教材等	教科書(未来へひろがる数学3・啓林館)・3年間の総まとめ問題集(新学社) 未来へひろがる数学問題集3(啓林館)・紙ファイル	担当 教員	椿原 香 長田 一之
------	-----	-------	--	----------	---------------

【学習の目標】
 ・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
 ・論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力を身に付ける。
 ・数学を生活や学習に生かし、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとするができるようにしましょう。

【授業の進め方や授業のポイントは何か】
 ・授業中は私語をせず、集中して臨む。
 ・挙手や発表は積極的に行う。
 ・日々の授業の振り返りを実施する。
 ・学び合い学習を積極的に取り入れる。
 ・忘れ物がないように、授業の準備は休み時間に済ませておく。

【どのように家庭学習を進めればよいか】
 ・計算問題などは、繰り返し反復演習を行い、必ず途中式をきちんと書きましょう。
 ・出された課題は必ずやりきりましょう。
 ・家庭学習を習慣化し、予習・復習を行いましょ

【評価の方法】

評価の観点	評価のポイント	
知識・技能	・授業態度 ・ノート ・定期考査	・小テスト ・宿題プリントなどの提出物
思考・判断・表現	・授業態度 ・ノート ・定期考査	・宿題プリントなどの提出物 ・レポートなど
主体的に学習に取り組む態度	・授業態度や発言 ・ノート ・問題集	・振り返りシート ・宿題プリントなどの提出物

【1年間の授業計画】

学期	単元	学習する内容	ここで付けたい力	学期	単元	学習する内容	ここで付けたい力
1学期	式の展開と因数分解	式の展開と因数分解	・単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法の計算をすることができる。 ・簡単な一次式の乗法の計算及び公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすることができる。	2学期	円の性質	図形と相似	・平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件について理解することができる。
		式の計算の利用	・既習の計算の方法と関連付けて、式の展開や因数分解をする方法を考察し表現することができる。 ・文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明することができる。			平行線と線分の比	・三角形の相似条件などをもとにして図形の性質を論理的に確かめることができる。 ・平行線と線分の比についての性質を見だし、それらを確かめることができる。
	平方根	平方根	・数の平方根の必要性と意味を理解することができる。			相似な図形の計量	・基本的な立体の相似の意味及び相似な図形の相似比と面積の比や体積の比との関係について理解することができる。
	平方根の利用	根号をふくむ式の計算	・数の平方根を含む簡単な式の計算をすることができる。			相似の利用	・相似な図形の性質を具体的な場面で活用することができる。
二次方程式	二次方程式	・既に学習した計算の方法と関連づけて、数の平方根を含む式の計算の方法を考察し表現することができる。 ・数の平方根を具体的な場面で活用することができる。	・二次方程式の必要性と意味及びその解の意味を理解することができる。 ・平方の形に変形したり因数分解したりして二次方程式を解くことができる。 ・解の公式を知り、それを用いて二次方程式を解くことができる。 ・平方根の考えや因数分解をもとにして、二次方程式を解く方法を考察し表現することができる。	3学期	三平方の定理	円周角と中心角	・円周角と中心角の関係の意味を理解することができる。 ・円周角と中心角の関係を見いだすことができる。
	二次方程式の利用	・二次方程式を具体的な場面で活用することができる。	円周角と中心角の関係			・円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用することができる。	
2学期	関数 $y=ax^2$	関数とグラフ	・関数 $y=ax^2$ について理解することができる。 ・事象の中には関数 $y=ax^2$ として捉えられるものがあることを理解することができる。	標準調査	標準調査	標準調査	・標準調査の必要性と意味を理解することができる。 ・コンピュータなどの情報手段を用いるなどして無作為に標本を取り出し、整理することができる。 ・標準調査の方法や結果を批判的に考察し表現することができる。 ・簡単な場合について標準調査を行い、母集団の傾向を推定し判断することができる。
		関数 $y=ax^2$ の値の変化	・関数 $y=ax^2$ として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。			三平方の定理の利用	・三平方の定理の意味を理解することができる。 ・三平方の定理を見いだすことができる。
<p>* 定期テストの予定 5月下旬、7月上旬、9月上旬、11月下旬、1月下旬、3月上旬の計6回実施 * 学習の進度や習得状況に応じて、内容を変更して実施することがあります。</p>							